

旅先で急に倒れても、これで安心？

自分の健康情報を電子化して管理!?

「ポケットカルテ」について教えて！

違う病院へ行くたび、問診表を書いて、同じような検査して…が、とっても面倒。そんな手間を解消する「ポケットカルテ」というサービスがあるそうですが、どんなものなの？ サービスを提供するNPO法人SCCJの顧問、北岡有喜さんに伺いました。「医療情報をネットでいつでも閲覧できるシステムです。新しく行った病院でも、登録データを治療の参考にして余計な検査を省略できます。現在は健康診断や診察の結果をパソコンから自分で入力しますが、カルテや診断結果の電子化が進めば、自動で読み込めるようになる予定です。自分の医療情報が1つにまとまることで、効率よく医療が受けられるなら、病院へも気軽にに行くことができそうです♪（岡本まーこ）

ポケットカルテで

こんなことが実現する！（監修／北岡有喜さん）

旅先などでも適切な治療が受けられる

持病や体質などの医療情報があれば、かかりつけの病院でなくても適切な処置を迅速に行うことができる。もし旅先で急に倒れるようなことがあっても安心です

自分の病気をよく知ることができる

登録データは患者に合意の上で匿名で分析し、データベース化される予定。性別や年齢などの情報と症状から、自分がどんな病気なのか検索することも可能に

国の無駄な医療費を削減

他の医療機関の診療情報を確認することで、同じ検査や投薬をする必要なくなる。増加し続けている日本の医療費に歯止めをかけられるかも？

将来的には、投薬歴やレントゲン画像など、あらゆる医療情報の登録を目指すそう



図はパソコンの入力画面。個人認証のため、利用登録はPHS(WILLCOM)か携帯電話(docomo、au、SoftBank)からのみ。身長、体重、中性脂肪、空腹時血糖などの情報の入力や閲覧はPHS・パソコンから行う。http://pocketkarte.net